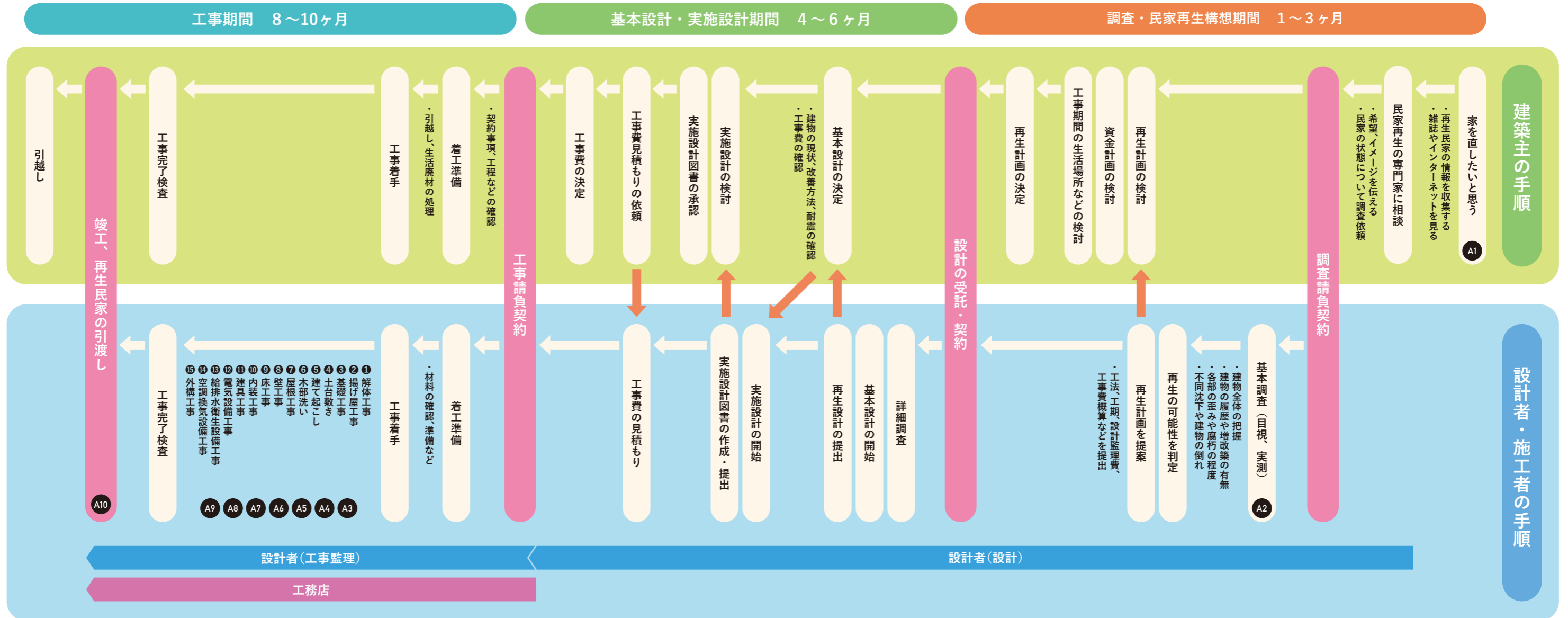


古民家再生の流れ



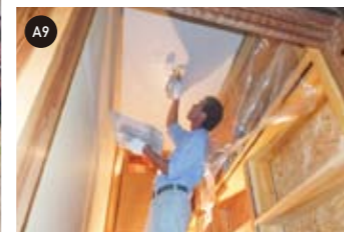
現地再生後



建て起こし：柱が傾いていたり変形した建物を、ワイヤーやジャッキを使って、元の垂直の状態に少しずつ戻す。



土台敷き：基礎の上に新たな土台を敷く。



仕上げ工事：左官屋さんが伝統工法による和漆喰塗りの仕上げを行なう。



継ぎ手等の補修：解体時に部材に腐朽や痛みがあった場合、できるだけ同材で補修して使う。



揚げ屋工事：再利用部分を残し解体した後、土台に鉄骨を通し、建物全体を持ち上げ、基礎工事の準備をする。



基礎工事：揚げ屋工事後、新しい基礎を作り、不同沈下等が起きない強固な建物とする。



現地調査：実際に現場を見て採寸し図面にする。この時に既存の梁や柱の腐朽、老朽化、雨もり等を入念に調べる。



解体工事：物件によって解体範囲は異なる。既存の梁、柱などを残し、壁、天井、床組みなどを撤去する。



現地再生前